

桂坂山の手倶楽部だより

(第31号)

平成25年5月1日発行

桂坂山の手倶楽部だより編集委員会



ご挨拶

会長 長谷川 文彦

春の嵐により一夜にして葉桜となり、初夏の兆しを感じられる季節となつてまいりました。

この度、第二十二回総会において桂坂山の手倶楽部の会長を拝命いたしました、第2倶楽部の長谷川文彦でございます。

当倶楽部に入会してまだ日は浅いにも拘わらず、私に会長という大役を仰せつかったことは予期せぬことであり、はたしてこの重責を全う出来るかは、いささか不安を感じざるを得ませんが、お引き受けした以上、会員の皆様方の更なるご理解・ご協力を得て、誠心ご期待に添うよう努力する所存でございます。

今回、第2倶楽部の西澤会長、第3倶楽部の八木会長、第5倶楽部の松本会長と永年に亘って要職を務めてこられた方々が揃って退任されるという事態になりました。

たが、幸いにも経験豊富な方々にご無理を申し上げ残って頂きほつと一安心致しております。

さて、先日の新聞紙上に掲載されておりましたが高齢化がさらに進み、全国で六十五歳以上

の人口が三千万人を突破するということとであります。総人口に占める比率は24.1%と最高を更新したとの記事が載っております。

桂坂地区におきましては、六十五歳以上の方が約3千人位ではないかと推測されますが、その内当倶楽部に入会されておられます方が約二百七十名ば



かりです。ぜひとも近いうちに十パーセント以上の方々が入会される様、皆様方からも働きかけて頂きたいと思っております。

昨年度の活動方針の一つでありました高齢者対策の一環であります食事会や懇談会など単位倶楽部毎に実施され

て大変好評であったと聞き及んでおります。このことは今後とも地域委員の皆様のお力をお借りして定着・継続・

発展させて頂きたいと思っております。

本年度の活動方針にもお示ししておりますが、初めて地域委員会並びに同好会会議を計画しております。従来年2回の合同会議が開催されておりましたが、

特に地域委員の皆様方に発言の機会が少なく、そのことを解消するためでもありまた、単位倶楽部毎の問題もお互い共有することが大事であると考え地域委員会を計画致しました。また、当倶楽部は

同好会活動が全てとは言えませんが同好会を通じて西京区は勿論、京都市に於いても其々の分野で活発に活動されております。しかしながら同好会間の横の連携を密にすることも大変重要なことであります。加えて体育系と文化系同好会の交流が必要と考えられますため、敢えて同好会会議を計画した次第です。

今回選出された役員には当倶楽部での経験の浅い方が私を始め多数おられますが、山積されている課題に対して一致団結、真摯に一つ一つ勉強して、着実に解決に向けて努力致す所存でございます。

今後とも会員皆様のご指導、ご鞭撻並びに役員・地域委員皆様のご協力の程よろしくお願い申し上げます。

第2 2回定例総会開催

事務局 岡村 重臣

去る4月20日、当倶楽部の第2 2回定例総会がふれあい会館において、会員105名の参加を得て開催されました。第4倶楽部の青山正男さんの司会で最初に、物故された村上久子さん、阪本健さん、吉田信江さん、立野和之さん、伊東禎子さんのご冥福を祈り全員で黙祷を捧げ、次に八木会長の挨拶で始まりました。

総会の議長には第2倶楽部の乗本政三氏が選出され、各議案は審議の結果すべて原案通り承認されました。その後、八木会長からは「皆様のご協力のおかげで無事役目を終えることが出来お礼を申し上げますとともに、当倶楽部の今後のますますの発展を願っております」と退任の挨拶をされました。続いて、長谷川文彦新会長からは「桂坂地区の人口からみてぜひとも会員数は300名を目指したい。また、活発である同好会活動同様に、単位倶楽部内の親睦融和を図り、地域の活動を活発化させたい」と抱負を述べられました。最後に新任の役員、地域委員、同好会責任者の紹介が行われて総会は終了しました。



総会終了後に大枝交番の坂根さんより、多発している振り込め詐欺の防止について、手口の事例をあげての説明がありました。

親睦会

事務局 岡村 重臣

第2 2回定例総会の終了後、2階大枝の間に会場を移し、長谷川新会長の挨拶に続いて中口副会長の乾杯の音頭で親睦会が始まりました。

今回は120名と過去最高の出席者を得て会場は超過密の熱気あふれる状態となりました。そこかしこで広がる歓談の輪も、時が経つにつれ歓談の合唱状態となり、これには青山副会長の司会進行も想定外の対応を迫られる始末でした。しかしながらビンゴゲームが始まると皆さん真剣な表情に豹変。この時ばかりは会話もとぎれ静寂が訪れました。

午後2時過ぎ、足立副会長の三本締めでお開きとなりましたが、来年以降はふれあい会館の今後の問題で会場の設定に不安は残るものの、今回同様に盛り上がった親睦会を継続したいものです。



「12年間の役員生活を振り返って」

八木 兵司

先日の定例総会で、2年間務めさせていただいた会長を退任いたしましたので、それまでの9年間の事務局担当期間も含めて役員生活を簡単に振り返ってみたいと思います。

私は、平成11年に倶楽部に入会し、2年目の単位倶楽部の総会で役員に選ばれました。しかし、1年も経たないうちに会長が体調をくずされて会長を引き受け、同時に全体の事務局を担当することになりました。それまでパソコンなどほとんど扱っていない状態での事務局担当で、当初は苦労の連続でした。交替していただく会員が現れないまま、長期にわたって事務局を担当することになりましたが、その間特に印象に残っているこ

とを挙げてみます。

先ず、平成 17 年度に山本会長の下で「桂坂山の手倶楽部だより」を創刊して倶楽部活動の概要をまとめ、会員で情報の共有化を図るようにしました。これは、現在も年 4 回の発行が継続されており倶楽部活動の記録としても貴重な資料となっていると思います。

次に、平成 18 年度に岡会長の下で、懸案であった「会則の全面的改訂」を行いました。一部紹介しますと、事務局や事業担当委員の役割が明記されていないため事務局に負担が集中していたのを改めたり、年会費を低減して同好会への交付金を廃止するなど大幅な見直しを行い、現在の統制のとれた運営体制を確立することが出来ました。

更に、平成 23 年度乗本会長の下で「創立 20 周年記念事業」を行ったことも印象に残っています。特に、歴代の会長や当初からご活躍いただいていた同好会の講師の先生方皆様のご健在な間にこの記念事業を実施出来たことは本当に良かったと思っております。

私が会長の 2 年間は、自治連合会役員や諸団体長など多くの方々と交流をさせていただけたことも貴重な体験でした。

現在、我々の倶楽部は約 270 名の会員を維持していますが、桂坂の 60 歳以上の方の当倶楽部への加入率は未だ 1 割にも達していません。

今後の高齢化の進行傾向を考えれば、我々の倶楽部の発展の余地はますます広がっていきます。会員の皆様が力を合わせて倶楽部を更に魅力あるものに発展させることによってより多くの新会員を迎え入れ、地域の活性化に大いに貢献して行っていただければと願っております。

在任中は力不足でいろいろ苦勞することがありましたが、今になって振り返ってみますと、多くの会員の皆様と楽しい交流をしながら非常に充実した第二の人生を過ごさせていただいた気がしております。

長い間いろいろとお世話になり、どうもありがとうございました。

「区老連理事を終えて」

岡村 英明

4 月 20 日、山の手倶楽部総会後の新会長はじめ区老連各委員あてに、平成 25 年度第 1 回区老連理事会報告（コピー）をお渡しして、私の「平成 24 年度区老連理事」のページも終ろうとしています。

思えば平成 19 年度から 2 期続けた区老連体育委員の後、突然、「区老連理事」の推薦を受けての 1 期 2 年間でした。理事の役目は ①区老連←→山の手倶楽部の連絡調整係 ②区老連内 8 事業部の実行責任者 ③区老連行事のマンパワーの一人 と心得て、誠心誠意つとめました。

もとより私の能力は微々たるもので、①については、毎月の理事会報告のコピーを単位倶楽部会長ほか関係委員に配布すること以外に適当な方法を見出せませんでした。（この情報伝達方式には、コピー経費も高額になり、今後新理事に於いて見直しされることを希望します。）②は理事定員の関係上、体育委員長と若手委員長兼務を余儀なくされ、物心両面で能力不足を痛感しましたが、幸いにも、両委員会とも榎枝会長はじめ全委員の一方ならぬご理解・ご協力のお陰で、体育行事参加料個人負担値上げ、ペタンク大会の自主運営移行、第 1 回スカイクロス大会開催、事業予算の円滑な運営（繰越金計上）など、ほぼ予定の成果が得られたと思っております。③は私の全生活を区老連理事優先として行動し、担当委員会の全会議、指定研修会、区老連全体行事応援などに極力参加いたしました。女性部主催行事（ダンスパーティ）には本業との予定重複が多くあり、欠席いたしました。また、市老連・区老連主催一泊旅行には、この 2 年間、時間的・経済的に参加ままならず、ようやく本年 2 月の草津温泉旅行に“初めての終り”参加出来たことを反省しております。

今、思い返しますと至らないことばかりで、区老連全体にご迷惑をお掛けしたことをお詫びいたします。またこの 2 年間、脇役であったはずの私に理事という大役を与えて頂き、貴重な経験をさせていただきましたことに心から感謝いたします。この経験を今後山の手倶楽部内での活動に生かすよう努力したいと思っております。

具体的には、「後期高齢者として「ネンリンピック」予選出場をめざすなど、高齢者スポーツの何種類かを向こう 10 年・90 歳まで続ける」という「夢」をもって、健康保持に努めることにいたします。

皆さん 有難うございました。明日からは元気に「グラウンド」でお目にかかります。

その他のお知らせ

1. 「地域の安心・安全感謝の集い」開催される

八木 兵司

去る3月22日に、桂坂小学校の体育館において表題の集いが開催されました。当日は、小学校の子どもたちとのふれあいの機会を持っている地域の13の団体長が招待され、子どもたちの代表者からそれぞれの団体長にお礼の寄せ書が贈呈されました。

当倶楽部は、二つのクラスから写真のような朝の声掛け活動に対するお礼のメッセージを書き込んだ寄せ書きをいただきました。声掛け活動に参加された会員の皆様にお礼を兼ねてご報告いたします。



2. お知らせ

新しく会員になられた方（2月以降）

敬称略

お名前	自治会	同好会	お名前	自治会	同好会
藤井 佐津子	ひいらぎ		木田 孝一	もみのき	ゴルフ
小幡 幸子	しらかば	Gゴルフ、ペタンク、麻雀	小松 伸	つばき	歩こう会、写真
吉田 純子	にれのき	絵画	大原 美代子	さつき	絵画
山本 正美	さつき	絵画	小谷 澄子	けやき	カラオケ、絵画
佐野 登	くすのき	ゴルフ	熊谷 祥彦	ひいらぎ	ゴルフ
藤田 正	かえで	囲碁・将棋、ゴルフ	西井 和子	ひいらぎ	グラウンド・ゴルフ

(注) 熊谷 祥彦さんは平成24年4月1日に入会されておりましたが、手続きが漏れておりました。

退会された方（2月以降）

増田 節夫さん（かえで）、前田 利枝さん（にれのき）、山本 昭さん（つばき）、尾藤 聡子さん（かえで）
早野 美代子さん（かえで）、藤松 絹子さん（もくれん）、後藤 睦子さん（ひいらぎ）
山田 澄子さん（さくら）、吉田 信江さん（かえで）、八田 信男さん（くすのき）
阪口 時紀江さん（ひいらぎ）市川和子さん（しらかば）、高井 八重子さん（かえで）
吉田 信江さん（かえで）は本年3月ご逝去されました。ご冥福をお祈りします。

会員の状況

会員数 268名（平成25年5月1日現在） 本年度入会者数 5名 同退会者数 4名

今年度の編集委員 岡村 英明、松井 捨和、小松 久夫、水谷 恵一、岡村 重臣